

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市観光審議会（書面開催）  
※新型コロナウイルスの感染防止を図るため，書面開催とした。
- 2 開催日時 令和4年2月1日（火）から令和4年2月14日（月）（意見聴取期間）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 出席した者の氏名（※委員については，議決権行使書の提出をもって出席とみなす。）
  - (1) 委 員 加藤 高藏，櫻場 誠二，須田 浩和，飯田 正美，内田 敏雄，  
林 太一，石川 よう子，大和田 渉，楡崎 ひろ子，林 由香里，  
鹿倉 よし江，鈴木 律子，堀井 武重，浅川 宗典，松坂 秀幸，  
澤 利彦，小川 啓子，丹下 美津子，國府田 敬二郎
  - (2) 執行機関 小林観光課長，川俣観光課副参事兼課長補佐，  
篠原観光課企画物産係長，永井観光課主事
- 5 議題及び公開・非公開の別
  - (1) 後期先導プロジェクトの進捗状況について（公開）
  - (2) 弘道館・水戸城跡周辺地区における誘客に向けた取組について（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人（書面開催により）
- 8 会議資料の名称  
令和3年度水戸市観光審議会議案
- 9 発言の内容  
書面により意見を聴取した。以下概要。
  - (1) 後期先導プロジェクトの進捗状況について
    - ・リピーター数，2泊以上の連泊者数，ワーケーションやマイクロツーリズムによる近隣県からの来訪者数などを調査・分析し，目標値として設定した方がいいのではないか。
    - ・新型コロナウイルス感染症の収束が見えず，目標値達成が厳しい状況であるが，今後も国内外へ情報発信を広げて，Web上でも水戸の魅力を宣伝していただきたい。
    - ・通年で観光できる水戸学の道のような周遊観光拠点をアピールすることが大切である。
    - ・優良タクシー乗務員数の増加に向けては，本人や所属会社へのインセンティブ制度導入（報奨金，市HPでの紹介など）を検討してはどうか。

- ・おもてなしマイスター数の増加に向けては、(優良タクシー乗務員と同様に) インセンティブ制度を導入してはどうか。また併せて、おもてなしマイスターによる各施設の点検・報告・意見聴取など行ってはどうか。
- ・おもてなしの一環として、ボランティアによる公衆トイレの美化活動やごみ拾いなどの環境活動を行ってはどうか。
- ・市内に点在する案内板やベンチ等について、経年劣化やいたずらにより、本来の役割を果たせてないものがあるため、ボランティアに監視、修復や報告を行っていただけよう検討してはどうか。
- ・P-PFIについては、若者が集い易く、音楽室やスクリーンなどの設備も取り入れられると集客に繋がると思う。
- ・偕楽園有料化に伴い、南門や吐玉泉料金所が開設されたが、観梅期間外は閉まっている。観梅期間外に桜山駐車場利用者や梅桜橋を渡って入園される方にとっては、表門から入園するほかなく、おもてなしの観点からとても不親切である。
- ・水戸市民としては、色々と実行していることは分かりますが、水戸をよく知らない人たちへの見せ方という点で、方向性が少しずれているような気がする。どのように見たいか、何をしたいか、楽しみたいかと、どのように見せたいか、何をさせたいか、楽しませたいかは違うような気がする。

## (2) 弘道館・水戸城跡周辺地区における誘客に向けた取組について (公開)

- ・二の丸角櫓に続く長い通路には、季節の花や四季折々の句を詠んだ短冊を飾ってはどうか。
- ・水戸城二の丸角櫓の入り口からの通路が長く、両脇の竹が観光的でないため、白壁にしてはどうか。また、距離が長いため、静かな音楽か解説の音声を流してはどうか。
- ・二の丸角櫓の通路や通路を抜けた後のスペースにベンチ等の休憩できる設備を用意しては。
- ・二の丸角櫓の入口には、(車いす用のスロープ等) バリアフリーの観点で整備を検討してほしい。
- ・水戸駅北口から二の丸角櫓が美しく見えるように景観がもう少し良くなると良い。
- ・水戸学の道周辺において、個人・グループでもゆっくり水戸を楽しめて、長く滞在できるようなおもてなしを考えていただきたい。
- ・歴史に興味を持つ中高生をはじめ、様々な年代のボランティアを養成し、(当地区の歴史資源を) 案内していただくことで、(おもてなしの観点から) 水戸の印象が良くなるのではないか。
- ・ただ施設を見学するより、案内を受けながら見学できた方が、歴史の理解が深まると思う。
- ・二の丸展示館や角櫓には、観梅デー以外の期間でも係員が常駐してほしい。
- ・車で来る人たちにとって、駐車場の場所が分からないという声を聞く。
- ・食や土産品などを楽しめる場所があると良い。
- ・観光の記念になる土産品等を購入できる場所があると良い。
- ・県内在住でも偕楽園や弘道館に来たことがない方々が多いようなので、各市町村から公費を援助し、バスツアーなどを考えてはどうか。
- ・若者の誘客を図るため、「インスタ映え」する場所や食があると良い。
- ・観るだけよりも体験型で楽しめる方が良い。

- ・新事業などを誘客に繋げるためには、他県へのアピールが必要だと思う。